

会派公明オンライン視察報告書

日時:令和 6 年 8 月 23 日(金)午前 10 時~11 時 30 分 場所:会派室

静岡県焼津市「学校の猛暑災害対策」と「学校トイレの様式化」について

教育委員会事務局教育部教育総務課課長 嶋様

教育委員会事務局教育部教育総務課参事 鈴木様

教育委員会事務局教育部学校教育課学校教育担当主幹 池谷様

議会事務局庶務課庶務担当 早川様

1, 視察の感想

焼津市は、令和 6 年度から、第 6 次焼津市総合計画の第 2 期基本計画「将来都市像」やさしさ愛しさ いいもののいっぱい 世界へ広げる 水産文化都市 YAIZU として、6 つの政策と 21 の施策 + 実現に向けた組織横断的な視点にみる 5 つの重点取り組み + 市民に寄り添った新たな取組をスローガンに計画しています。猛暑災害対策事業では、小・中学校体育館への空調設備設置までの間、暫定的にスポットクーラーの設置、小・中学校の園庭や運動場にミストシャワーの設置、保冷剤付ランドセル背当てパットとクールタオルの配布を実現しました。背景として、猛暑を災害と捉え、学校現場に於いて、熱中症弱者とされる子どもへの更なる対策が急務とし、ハード面、ソフト面の両方から、子ども達を守る取り組みをされている。また、小・中学校教育環境整備事業「学び舎にここ元気計画」に基づき、最優先事項と位置付けているトイレの洋式化を、令和 7 年度の全小・中学校完了を目指し、計画されています。男子トイレの小便器は自動洗浄タイプに、多目的トイレも洋式化として新設し、壁や床の改修も同時に整備され、子ども達の健康を重点にした施策となっている。

2, 視察の成果及び市政への反映等

都城市は焼津市よりも南に位置しているのに、子供たちへの猛暑対策は何一つできていない。同じ小・中学生なのに、自治体により、こんなに差があつていいのでしょうか。申し訳ない思い出いっぱいです。「猛暑を災害と考える」、「子供たちは熱中症弱者であること」等を考慮すると対策が必要です。特に小・中学校体育館への空調設備設置は重要な施策です。また、本市では、小・中学校トイレの完全洋式化もできていません。「子供たちが我慢しなくなった」との感想は、子ども達の健康を守る上で重要なことです。本市でも、未来の子ども達の健康を守る対策を提案して参りたいと思います。

視察の状況（写真）

